



(題字 小澤 浩 学長)

第438号
(平成13年6月号)

6月のトピックス

◇ 28日 附属学校(園) 校内クリーン作戦を実施



目 次

関係法令	3
諸会議	4
学 事	
◆ 平成13年度科学研究費補助金の交付決定	4
◆ 平成13年度富山大学国際交流活性化推進事業（前期分）の採択	9
◆ 富山大学入学者選抜試験の合否判定過誤とその後の対応の誤りについて（経過報告）	11
人事異動	13
学内諸報	
◆ コクヨ（株）主催による植樹式を開催	14
◆ 富山大学総合情報処理センター新情報システム及びギガビット・ネットワーク・システム披露式と公開デモンストレーションの実施	14
◆ 副学長に鈴木孝志人文学部教授，佐々木和男工学部教授が就任	15
◆ 附属幼稚園フォーラムを開催	15
◆ 附属学校（園）校内一斉清掃を実施	16
◆ 2001年日本留学フェアに参加	16
◆ 海外渡航者	17
◆ 表彰	18
主要行事	18

関 係 法 令**(法 律)**

- 国立学校設置法の一部を改正する法律（平成13.6.29 官報号外第134号）

(規 則)

- 人事院規則 9-40（期末手当、勤勉手当及び期末特別手当）の一部を改正する人事院規則（人事院 9-40-18）（平成13.6.15 官報第3137号）
- 人事院規則 9-55（特地勤務手当等）の一部を改正する人事院規則（同 9-55-55）（同）
- 人事院規則 9-17（俸給の特別調整額）の一部を改正する人事院規則（同 9-17-81）（平成13.6.22 官報第3142号）
- 人事院規則14-4（営利企業への就職）の一部を改正する人事院規則（同14-4-6）（同）
- 人事院規則14-20（特定独立行政法人の役員の営利企業への就職）の一部を改正する人事院規則（同14-20-1）（同）
- 人事院規則16-0（職員の災害補償）の一部を改正する人事院規則（同16-0-29）（同）
- 人事院規則 1-5（特別職）の一部を改正する人事院規則（同 1-5-10）（平成13.6.29 官報第3147号）
- 人事院規則 9-2（俸給表の適用範囲）の一部を改正する人事院規則（同 9-2-38）（同）
- 人事院規則 9-17（俸給の特別調整額）の一部を改正する人事院規則（同 9-17-82）（同）
- 人事院規則 9-42（指定職俸給表の適用を受ける職員の俸給月額）の一部を改正する人事院規則（同 9-42-17）（同）
- 人事院規則11-8（職員の定年）の一部を改正する人事院規則（同11-8-14）（同）

- 人事院規則17-0（管理職員等の範囲）の一部を改正する人事院規則（同17-0-62）（同）

(政 令)

- 著作権等管理事業法の施行に伴う関係政令の整理等に関する政令（平成13.6.29 官報号外第134号）
- 日本育英会施行令の一部を改正する政令（同）
- 日本私立学校振興・共済事業団法施行令の一部を改正する政令（同）

(省 令)

- 国立学校における授業料その他の費用に関する省令の一部を改正する省令（文部科学70）（平成13.6.1 官報第3127号）
- 放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律施行規則の一部を改正する省令（同71）（平成13.6.15 官報号外第122号）
- 核原料物質の使用に関する規則の一部を改正する省令（同72）（同）
- 著作権等管理事業法施行規則（同73）（同）
- 核燃料物質等の工場又は事業所の外における運搬に関する規則の一部を改正する省令（文部科学・経済産業・国土交通1）（同）

(告 示)

- 放射性同位元素又は放射性同位元素によって汚染された物の工場又は事業所の外における運搬に関する技術上の基準に係る細目等を定める告示の一部を改正する件（文部科学107）（平成13.6.15 官報号外第122号）
- 核燃料物質等の工場又は事業所の外における運搬に関する技術上の基準に係る細目等を定める告示の一部を改正する件（文部科学・経済産業・国土交通1）（同）

諸 会 議

富山大学の在り方に関する検討特別委員会（6月6日） （審議事項）

- (1) 富山大学の在り方（将来像）について

富山大学年史編纂委員会（6月6日） （議 題）

- (1) 最終原稿の取りまとめ及び編纂方針の確認について
て
(2) 年史の発行スケジュールについて

自己点検評価委員会（6月8日） （審議事項）

- (1) 平成12年度自己点検評価報告書について

セクシュアル・ハラスメント等対応委員会（6月13日） （議 題）

- (1) 「実態調査」（アンケート）について
(2) ガイドラインの見直しについて
(3) 相談の件について

教養教育検討特別委員会（6月14日） （審議事項）

- (1) 教養教育の見直しについて

評議会（6月22日） （審議事項）

- (1) 平成13年度学内予算配分（案）について
(2) 富山大学審査委員会の設置について

学 事

平成13年度科学研究費補助金の交付決定

このたび、平成13年度科学研究費補助金の交付が決定しました。

本学における研究種目ごとの決定件数・金額等は、以下の表のとおりです。

研究種目	新規申請件数	交付決定件数	交付決定額		新規採択率 (%)	平成12年度 交付決定件数	平成12年度 交付決定額 千円
			直接経費 千円	間接経費 千円			
特定領域研究(A)(2)	16	6	12,200		37.5	5 (2)	8,300
特定領域研究(B)(2)	1	1	1,100		100.0	1 (1)	3,200
特定領域研究(C)(2)	2	1	15,000		50.0	2	43,800
基盤研究(A)(1)	3	2	18,000	5,400	66.7	0	0
基盤研究(A)(2)	4	1 (1)	7,300	2,190	0.0	2 (2)	11,100
基盤研究(B)(1)	4	0	0		0.0	1 (1)	
基盤研究(B)(2)	52	8 (4)	40,300		7.7	9 (8)	26,900
基盤研究(C)(1)	2	1	1,400		50.0	0	0
基盤研究(C)(2)	128	40 (27)	45,800		10.2	45 (34)	46,300
萌芽的研究	43	5 (1)	5,700		9.3	4 (4)	2,300
奨励研究(A)	60	22 (13)	21,700		15.0	29 (16)	28,200
地域連携推進研究費	—	—	—	—	—	0	0
計	315	87 (46)	168,500	7,590	13.0	98 (68)	172,300

注. 「交付決定件数」欄の () 内は、継続課題の採択件数を内数で示す。

平成13年度から「特別推進研究」、「基盤研究 (S)」、「基盤研究 (A)」及び「学術創成研究費」に間接経費が措置されることになった。
地域連携推進研究費は平成13年度に公募はなかった。

平成13年度科学研究費補助金交付決定者一覧

研究種目	研究代表者			研究課題	交付決定額		配分予定額		
	所属	職	氏名		平成13年度		平成14年度	平成15年度	平成16年度
					直接経費	間接経費			
特定領域研究(A)(2)	人文学部	教授	鈴木 信昭	朝鮮に伝来した漢訳西学書・天主教書の研究	千円 3,800	千円	千円 3,800	千円	千円
"	人文学部	教授	鈴木 信昭	東アジア出版文化の研究－調整班(FO1)出版交流	500		500		
"	人文学部	助教授	徳永 洋介	元明時代における法律実用書の基礎的研究	1,500		1,500		
"	工学部	教授	北野 博巳	ブロックポリペプチド集積膜による情報伝達と触媒機能の制御	1,800		1,800		
"	工学部	助教授	星野 一宏	カワラタケの不織布表面培養法を用いた内分泌攪乱物含有廃水の連続浄化	2,300				
"	工学部	教授	吉村 敏章	硫黄－窒素三重結合を有する多元素環状化合物の合成と反応性に関する研究	2,300				
特定領域研究(B)(2)	教育学部	教授	竹内 茂弥	自然環境下でのプラスチックの生分解性評価	1,100		2,400		
特定領域研究(C)(2)	工学部	教授	磯部 正治	染色体構造異常を利用した疾患関連遺伝子群の解析法の開発	15,000				
基盤研究(A)(1)	人文学部	助教授	竹内 潔	アフリカ熱帯森林帯における民族的アイデンティティの再編成に関する人類学的研究	7,100	2,130	8,600	8,400	
"	人文学部	教授	前川 要	サハリンから北東日本海域における古代・中世交流史の考古学的研究	10,900	3,270	8,800	8,800	
基盤研究(A)(2)	教育学部	教授	佐藤 幸男	極小国家の「国家アイデンティティ」の社会的・経済的・文化的基盤に関する研究	7,300	2,190			
基盤研究(B)(2)	工学部	教授	坂井 純一	実験室及び宇宙プラズマにおける非線形現象の理論及びシミュレーションによる研究	2,200				
"	工学部	教授	北野 博巳	有機超薄膜－水界面の動的構造に関するラマン分光学的研究	3,500				
"	水素同位体科学研究センター	教授	松山 政夫	高原子番号材料に捕獲されたトリチウムのBIXS法による追跡	11,100		3,200		
"	工学部	助教授	高橋 隆一	光触媒 TiO ₂ スパッタ薄膜の可視光反応化に関する研究	4,600		2,300		
"	工学部	助教授	星野 一宏	高温溶解型温度刺激応答性高分子の開発とその温度応答を用いた抗腫瘍性酵素の活性制御	1,400				
"	人文学部	教授	前川 要	中世都市・城館遺跡における電磁気探査・土壌物性調査法の開発－不可視遺構の検出研究	1,700				
"	工学部	教授	北野 博巳	赤外励起走査型 AFM 表面観測装置の試作と高分子超薄膜－水界面の特性解析への応用	12,900		1,100		
"	極東地域研究センター	助教授	今村 弘子	中国の国有企業改革と失業問題に関する実態調査研究	2,900		2,100	800	

研究種目	研究代表者			研究課題	交付決定額		配分予定額		
	所属	職	氏名		平成13年度		平成14年度	平成15年度	平成16年度
					直接経費	間接経費			
基盤研究(C)(1)	経済学部	助教授	中村 和之	所得分配と地方分権に関する財政学的考察	千円 1,400	千円	千円 1,200	千円	千円
基盤研究(C)(2)	人文学部	教授	藤本 幸夫	日本現存朝鮮古刊本の調査とその語学的・書誌学的研究	500				
"	教育学部	教授	神川 康子	現代の子ども達的生活リズムの乱れが心身の健康に及ぼす影響	200				
"	理学部	教授	広岡 公夫	先史時代の考古地磁気永年変化曲線の確立	600				
"	総合情報処理センター	助教授	高井 正三	朝鮮古書データベース蓄積・提供用旧字体および朝鮮固有外字の整備に関する研究	400				
"	教育学部	助教授	鼓 みどり	テクスチャルな詩篇挿絵のイメージ変換に関する総合的研究	700				
"	教育学部	教授	深井 甚三	近世富山売薬を中心にした抜け荷取引とその運輸の研究	100				
"	人文学部	教授	小谷 仲男	クシャン王朝の歴史考古学的研究	800				
"	人文学部	教授	前川 要	中世港湾都市遺跡の空間構造に関する考古学的研究ー青森県十三湊遺跡を中心としてー	1,200				
"	人文学部	教授	鈴木 敏昭	述語隠喩に関する心理言語学的研究	600				
"	理学部	教授	栗本 猛	B中間子物理とニュートリノ物理による新素粒子模型の探究	300		500		
"	理学部	教授	石川 義和	セリウム化合物中の4f電子の局在・非局在の二重性	600				
"	理学部	助教授	川村 隆一	夏季アジアモンスーンとエルニーニョ南方振動の相互作用に関する研究	1,000				
"	理学部	教授	安田 祐介	周波数応答法による不均一系触媒反応進行中の自由エネルギー散逸速度の測定	500				
"	人文学部	教授	筒井 洋一	情報化社会における市民の政治参加の変容過程	500		400	700	
"	経済学部	教授	増田 信彦	地球環境への影響を考慮する日本の環境経済勘定の作成と持続可能性に関する研究	1,400				
"	教育学部	教授	浅沼 照雄	開平面代数曲線に関する基礎体の下降問題の研究	1,300				
"	教育学部	教授	大森 克史	移動境界を有する流れ現象の有限要素解析に関する研究	700		700		
"	理学部	助教授	小田島仁司	赤外レーザーの差周波発生によるTHz領域における高分解能分光計の開発	700				
"	教育学部	助教授	宮部 寛志	逆相液体クロマトグラフィー系における物質移動現象の速度論的解析	500		500	500	

研究種目	研究代表者			研究課題	交付決定額		配分予定額		
	所属	職	氏名		平成13年度		平成14年度	平成15年度	平成16年度
					直接経費	間接経費			
基盤研究(C)(2)	理学部	助教授	笠原 一世	固相抽出を利用する環境試料水の迅速・簡便なオンサイト分析法の開発に関する研究	千円 800	千円	千円	千円	千円
"	工学部	助教授	會澤 宣一	三角両錘型パラジウム(II)錯体のL-システイン残基認識能のペプチド分析への応用	1,900				
"	工学部	教授	塩沢 和章	表面創製による高機能付与材料の開発とその超長疲労強度信頼性評価	900		900		
"	教育学部	助教授	小川 亮	大学における情報教育の成果を評価する情報活用スキルテストの開発	1,100		500		
"	教育学部	助教授	向後 千春	個別化教授システム(PSI)のネットワークによる遠隔教育化に関する研究	1,200				
"	工学部	教授	唐 政	クローン選択説に基づく免疫的なネットワーク	500		1,200		
"	水素同位体科学研究センター	助教授	波多野雄治	高機能化合物ゲッターによる混合ガス系からのトリチウムの直接除去に関する研究	700				
"	理学部	助教授	中村 省吾	ナホトカ号流出重油より単離した重油分解菌グループの重油分解能と分 離機構	1,100				
"	工学部	助教授	小出 眞路	カーブラックホール磁気圏における相対論的ジェット形成機構の解明	1,400		600	500	600
"	理学部	助教授	宮澤 眞宏	ヘミアセタール中間体を経由するPd錯体を用いる立体選択的環化反応の開発と糖合成	2,100		1,300		
"	工学部	助教授	小田 晃規	超安定炭素陽イオン種の合成と構造化学的研究	2,300		600	600	
"	理学部	助手	辻 瑞樹	昆虫の社会進化における寄生微生物の役割	1,600		900	1,000	
"	教育学部	教授	渡邊 信	単細胞緑藻に含まれるCW型およびDO型グループの微細構造と分子系統	600		900	500	
"	工学部	教授	小泉 邦雄	努力支援型立上がり介助座椅子の開発	1,000		700		
"	工学部	助手	塚田 章	視覚系における特徴抽出及びその充填処理機構に関する研究	2,000		200	500	
"	地域共同研究センター	助教授	草開 清志	超耐熱合金中硫化物サブスケールの成長形態と生成機構の解明	1,900		1,000		
"	工学部	助教授	吉田 正道	温度場・濃度場同時計測システムの開発と融液晶析に及ぼす二重拡散対流の影響	1,900		900		
"	工学部	教授	佐々木和男	糖定常説と脂肪定常説を統合する視床下部摂食調節ネットワークの電気生理学的解析	2,000		2,000		
"	教育学部	教授	諸岡 晴美	脳波による温熱感覚および湿潤感覚の解析	3,300		500		
"	教育学部	助教授	深見友紀子	ウェブサイト「音楽室」環境の確立と教育効果の実証	2,200		900		

研究種目	研究代表者			研究課題	交付決定額		配分予定額		
	所属	職	氏名		平成13年度		平成14年度	平成15年度	平成16年度
					直接経費	間接経費			
基盤研究(C)(2)	理学部	教授	田口 茂	無酸素光分解反応を利用する有機塩素化合物を含む排水の処理	千円 2,700	千円	千円 900	千円	千円
萌芽的研究	理学部	助教授	鈴木 炎	液体金属のレーザー誘起ブレイクダウン分光と非線形光学的应用	800				
"	理学部	助教授	酒井 英男	大地の残留磁気および誘導地電位から雷現象を探る研究	900		700	500	
"	経済学部	助教授	柳井 雅也	環日本海経済圏時代における国際的地域連携の研究	600		700	500	
"	工学部	助教授	安川 洋生	生物のサイズを決定する2つの細胞数計数蛋白質の競合作用の解析	1,700		600		
"	理学部	教授	黒田 英世	線虫 C.elegans 卵受精時の Ca ²⁺ -signaling の機構の解析	1,700		500		
奨励研究(A)	人文学部	助教授	小野 直子	アメリカ合衆国における生殖の医学化に関する歴史的研究	1,100				
"	人文学部	助教授	加藤 重広	日本語数量詞構文に関する談話文法論的研究	500				
"	経済学部	助教授	近藤 康之	ヘドニック・アプローチによる不動産価格等の分析と計量経済学的方法の改善	900				
"	経済学部	助教授	岸本 寿生	中堅企業のグローバル化戦略にみる外国市場参入理論の体系化	700				
"	経済学部	助手	柳原佐智子	テレワーク導入を促す情報リテラシー教育アプローチ	800				
"	理学部	助手	菊池 万里	Banach 関数空間におけるマルチンゲールの理論	900				
"	理学部	助教授	桑井 智彦	磁性化合物および磁性微小系の極低温磁場誘起熱現象	100				
"	工学部	助手	笹木 亮	柔軟給送面を持つ波動型軟体リニアフィーダ	300				
"	工学部	助手	山根 岳志	温度場・濃度場同時計測システムの開発と誘液晶析に伴う二重拡散対流の解析	900				
"	工学部	教授	椿 範立	オキソアルコールとFTオイルの同時合成	600				
"	教育学部	助教授	黒田 卓	遠隔教育における教育方法と学習環境整備に関する研究	700				
"	経済学部	助教授	小野 理恵	投票システムの評価方法に関する比較研究	1,100				
"	水素同位体科学研究センター	講師	鳥養 祐二	水素吸蔵合金電極を用いたトリチウム水のトリチウム回収法の開発	500				
"	人文学部	講師	小林 功	7-10世紀のビザンツ帝国における都市とネットワーク	1,200		900		

研究種目	研究代表者			研究課題	交付決定額		配分予定額		
	所属	職	氏名		平成13年度		平成14年度	平成15年度	平成16年度
					直接経費	間接経費			
奨励研究(A)	人文学部	助教授	中島 淑恵	ベル・エポック期パリの女流詩壇におけるジャポニズムの諸相	千円 1,500	千円	千円 600	千円	千円
"	人文学部	講師	和田とも美	李光洙の歴史小説と同時代の偉人伝との比較を通じ小説と伝記の境界を明らかにする	1,200		1,000		
"	極東地域研究センター	助教授	堀江 典生	シベリア・極東地域のロシア労働市場への地域アプローチ	800		700		
"	理学部	助手	Lee I-Yin Sandy	分子吸着ナノ粒子の表面プラズモン共鳴を利用した光誘起電子移動	1,800		500		
"	理学部	助教授	和田 直也	温暖化と標高差に伴う環境変化が高山植物の繁殖様式に及ぼす影響	2,200		400		
"	工学部	助手	岡根 正樹	複合表面改質処理によるフレッキング疲労特性の改善と破壊機構の解明	1,100		900		
"	工学部	助手	小坂 暁夫	ミスト冷却熱伝達の促進を目的としたスプレーフラッシュ液体微粒化法の追究	1,100		900		
"	工学部	助教授	広林 茂樹	残響音場における逆問題のブラインド解法に関する研究	1,700		600		

平成13年度富山大学国際交流活性化推進事業（前期分）の採択

平成13年度富山大学国際交流活性化推進事業として、次の事業が採択されました。

1. 第1種海外派遣事業（教職員の海外派遣）

部局	職名	氏名	派遣期間	訪問先	研究課題
留学生センター	講師	後藤 寛樹	13. 7. 9～13. 7. 14 (6日間)	慶熙大 学校 (大韓民国)	韓国人留学生の日本語及び専門能力評価と優秀な留学生確保方策
理学部	教授	小松美英子	13. 6. 22～13. 7. 6 (15日間)	モーリシャス大学理学部 (モーリシャス) レ・ユニオン大学生態臨海実験所 (フランス)	西インド洋海域におけるヒトデ類の生殖と発生に関する研究
工学部	教授	杉本 益規	13. 5. 27～13. 6. 3 (8日間)	アルピ市 (フランス)	粉碎を伴う連続式回転円錐型容器により生成される複合微細造粒粒子に関する研究 －2成分系複合造粒粒子の粒径とそ構造に及ぼす原料粉末供給法の影響－
理学部	教授	清水 正明	13. 8. 26～13. 9. 8 (14日間)	クラクフ鉱業冶金大学 (ポーランド) ベルリン自由大学 (ドイツ)	海底熱水活動の鉱物科学的研究
工学部	教授	唐 政	13. 6. 27～13. 7. 1 (5日間)	クアラルンプール市 (マレーシア)	平成13年度「日本留学フェア」への参加
留学生課	専門職員	宮越 謙三	13. 6. 27～13. 7. 1 (5日間)	クアラルンプール市 (マレーシア)	平成13年度「日本留学フェア」への参加

2. 第2種外国人研究者招へい事業（日本滞在中の著名な外国人研究者の招へい）

部 局	職 名	氏 名	派 遣 期 間	招 へ い 研 究 者		研 究 課 題
				氏 名	所 属 ・ 職	
工 学 部	教 授	竹越 栄俊	13. 5.16～13. 5.22 (7日間)	Wen-Jei Yang (アメリカ合衆国)	ミシガン大学 工学部 教授	熱流体力学における非線形問題の数値解析に関する研究
理 学 部	教 授	吉田 範夫	13. 5.23～13. 5.27 (5日間)	Emil Minchev (ブルガリア)	ソフィア医科大学 助教授	偏微分方程式の振動理論

3. 第3種外国留学への奨学事業

氏 名	性 別	所 属	学 年	留 学 先	留 学 期 間
石田 義貴	男	工学部物質生命システム工学科	3	バージニア大学 (アメリカ合衆国)	平成13年8月1日 ～平成14年7月31日
橋本 信介	男	人文学部国際文化学科	4	国民大学校 (大韓民国)	平成13年9月1日 ～平成14年8月31日

4. 第3種外国人留学生への奨学事業

受入部局	氏 名 (性・年齢)	主 な 研 究 内 容	協定大学名 (国 名)	指導教官名	留 学 期 間	備 考
大学院理工学研究科	李 興 (男・21歳)	光ファイバーネットワークに関する数学モデル、フルゴリズムとその最適方法の研究	大連理工大学 (中華人民共和国)	中島 芳雄 工学部教授	平成13年8月1日 ～平成14年7月31日	特別研究学生
経済学部	獨孤ドウリ (女・20歳)	生産管理システムの研究	江原大学校 (大韓民国)	芳賀 健一 経済学部教授	平成13年9月1日 ～平成14年8月31日	特別聴講学生
経済学部	鄭 賢淑 (女・19歳)	戦後日本の企業経営、方式についての研究	江原大学校 (大韓民国)	芳賀 健一 経済学部教授	平成13年9月1日 ～平成14年8月31日	特別聴講学生
人文学部	崔 景南 (男・22歳)	相違な伝統文化が同じ社会現象へ及ぶ影響についての研究	国民大学校 (大韓民国)	林 夏生 人文学部講師	平成13年10月1日 ～平成14年9月30日	特別聴講学生

平成13年度国際研究集会派遣研究員（第Ⅱ期）の決定

所 属	職 名	氏 名	派 遣 集 会 名	開 催 国	研 究 題 目	開 催 期 間
工 学 部	助教授	松田 健二	第40回冶金学者会議軽金属国際シンポジウム	カ ナ ダ	銅添加したAl-Mg-Si合金における析出物の高分解能電顕観察	13. 8.26 ～ 13. 8.29

富山大学入学者選抜試験の合否判定過誤及びその後の対応の誤りについて（経過報告）

平成13年6月25日付け本学学内広報誌「Campus News」臨時号に標記の記事が次のとおり掲載されました。

平成13年6月25日

富山大学全構成員の皆様へ

富 山 大 学 長

今回の不祥事に対し、初めに心からお詫び申し上げます。

様々な報道が飛び交う中、一日も早く皆様へ調査経過の報告を致したいと願っておりましたが、何分にも重大な案件ですので事実の確定を待たなければ、大学としての事実の説明はできませんでした。

私は、この富山大学の危機に直面し、本学が自らの力で事実を明らかにし、自ら厳しい処分を行うという大学の自治を本当の意味で機能させるために、私自身が調査対策委員会委員長として厳正な調査を行う決意をいたしました。

委員会が行ってきた調査活動に加えて6月18、19の両日、文部科学省から事情調査メンバーが派遣され、文部科学省としての事情調査が行われました。6月20日調査対策委員会による私本人への事情聴取が終了し、6月22日の評議会に調査対策委員会が現在までに確認した事実を途中経過として報告し、それに基づいて責任者の処分を行うための審査委員会が評議会に設置されましたので、評議会に提出された「富山大学における入学者選抜試験合否判定の過誤とその後の対応の誤りについて」に関する中間報告のうち、事実の概要に関する部分を皆様にも報告いたします。

事実関係については、本委員会の調査結果と文部科学省の調査結果は概ね一致していますが、細部については、更に調査を続け全容を確定いたします。

事実の概要

(1) 合否判定過誤の生じた原因

平成9年度の人文学部入学者選抜試験における入学試験得点集計プログラムにミスを生じた最大の原因は、人文学部教授会が決定した入学試験の変更点が、電算処理専門委員会に伝えられていなかったため、プログラム修正が行われていない可能性が明らかになった。即ち、人文学部では、数学については、平成8年度までは、数学Ⅰのみを課していたが、平成9年度から数学①又は数学②のいずれか得点が高い方を使用することに変更されていた、にも関わらず、入試課の作成した電算処理専門委員会の資料では「昨年度と基本的に変更なし」とされており、これによりプログラムが修正されていない可能性がある、という極めて初歩的なミスである。

また、例えこのような初歩的なミスであったとしても、二度にわたるテストランの過程でなぜ見つけることができなかつたか、についても詳しく調査したところ、出力されたデータをチェックするシートにプログラム変更の項目がないこと、合否判定資料に受験科目の記載がないこと、など改善すべき点もみられた。さらに、前年度データを使用するテストデータに不備はなかつたか、などミスに繋がると思われる要素も多々あり、今後更に調査することとする。

(2) 合否判定過誤の発見と隠蔽（平成11年3月）

平成11年3月3日、発見されたプログラムミスは直ちに鈴木人文学部長（当時）に伝えられ、平成9年度、

10年度分の合否判定資料の調査が命じられた。その結果16名の新たに合格者となるべき受験生が確認された。事の重大さに鈴木人文学部長は、入試実施委員長を務める能登谷学生部長（当時）に連絡を入れた。学生部長室で能登谷学生部長と鈴木人文学部長の話し合いがあり、能登谷学生部長は、「この話はなかったことにしましょうや」と言い、それで話し合いは終わった。

(3) 合否判定過誤隠蔽の発覚（平成13年2月）

平成13年2月26日（月）、文部科学省及び複数の報道機関に匿名の投書があり、富山大学人文学部の平成8、9、10年度入試判定に誤りがあったとの指摘があった。文部科学省からの照会に入試課では当時の合否判定資料を精査したが、投書で指摘されたような事実は確認できず、その旨文部科学省へ回答した。また報道機関からの問い合わせにも、総務課及び人文学部は同様の回答をした。

同年2月27日（火）、能登谷副学長は小澤副学長に、匿名の投書に関連して、細部は違うけれども「2年前に人文学部で入試データ処理ミスにより入試判定に誤りがあり、事の重大さに驚き、学生部長としての自らの判断で隠蔽した」旨を告げた。

同年3月7日（水）、能登谷副学長、坂田事務局長同席の場で、時澤学長（当時）に対し、小澤副学長は、能登谷副学長から上記の事実に関する告白があり、鈴木人文学部長に確認したところ、鈴木人文学部長もその事実を認めたと報告があった。小澤副学長は時澤学長に対し、公表するよう進言したが、時澤学長は態度を表明しなかった。

同年5月15日（火）、時澤学長に対し再び小澤副学長から調査の要請があったが、時澤学長は能登谷副学長及び鈴木前人文学部長から、文書等による直接の申し出がない限り調査はできないと返答した。

同年5月23日（水）、既に公表を決意していた鈴木前人文学部長から、時澤学長宛に「人文学部入学試験データ処理ミスに対する処置をめぐる経緯」と題する文書が提出された。

(4) 合否判定過誤及び隠蔽の調査

平成13年5月24日（水）、小澤副学長は時澤学長に鈴木前人文学部長からの文書が提出されていることを確認した上で、調査の開始を指示するよう要請したが、片方の当事者の文書のみでは調査は開始できないと拒否された。

同年5月28日（月）、小澤副学長は鈴木評議員（当時）、佐々木評議員（当時）とともに時澤学長を訪ね、調査の開始を指示するよう重ねて要請した。

同年同日、文部科学省へ2月26日付けと同じ内容の匿名投書が再びあった。

同年5月29日（火）、運営会議で、同年5月25日（金）に開かれた国立大学事務局長会議で文部科学省から全国立大学に対して入試判定作業の再点検及び確認の調査指示があったことが報告された。前日の匿名投書もあり、学長名で全学部に過去5年間の入試判定作業の再確認及び点検を依頼し、中でも人文学部に対しては、前学部長からの申し出もあり、特に精査を依頼した。

同年6月4日（月）、矢澤人文学部長から小澤副学長に対して、関係者から事情を聴取し、過去に人文学部で入試判定過誤の事実があったことが確認されたので、全学的な調査が必要であるとの申し出があり、このことを小澤副学長が時澤学長に伝え、時澤学長から小澤副学長を委員長とする「富山大学入試判定問題調査委員会」を設置し、事実関係の確認及び今後の対応策について検討するよう指示があった。

同年6月15日（金）人文学部教授会は平成9年度及び10年度の入試判定を再度行い16名を新たな合格者と認定した。

以上が調査の結果判明した事実の概要です。このような事実に基づき教員人事の処分案件を取り扱う審査委員会が評議会に設置されました。また、新たに合格された方々には、人文学部で、直接訪問させていただきお詫びと入学の意思確認を中心に対応させていただいていますが、入学希望者があった場合の対応や補償の問題など、学部だけでは解決できない問題も多く、大学としても対応してまいります。

事件を公表してから、今日で10日余りがたちました。この間、新たな合格者の方々からはもちろん、一般市民や同窓生の方々からも、本学に対する厳しい糾弾の聲が寄せられてきました。本学構成員の皆様、とりわけ本学に期待をもって入ってきた学生のみなさまの怒りや悲しみや失望は、いかばかりであったかと思えます。

そうした中で、本学が一度び失った信用を回復し、傷つけられた皆様の誇りを取り戻すことは、まことに容易ではありません。しかし、取り返しのつかないことを、あえて取り返そうとしなければ、富山大学再生の道は、ますます遠のくばかりです。

私たちはいま、私たち自身の力で富山大学を再生させる作業に懸命に取り組んでおります。この作業は、全学的な協力なしに、成就するものではありません。皆様方の深い御理解と御支援を切にお願い申し上げます。

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
採 用	13. 6. 1	河上 明子		技術補佐員（総合情報処理センター）
	"	三橋 正博		"
昇 任	13. 6. 13	小澤 浩	教 授 人文学部	学長（～17. 6.12）
配 置 換	13. 6. 13	真田 敏江	総務部総務課専門職員	経理部契約室契約第二係長
	"	大島 千春	総務部研究協力課研究協力係主任	総務部総務課総務係主任
	"	高瀬久美子	事務補佐員（総務部総務課）	事務補佐員（学生部入試課）
	"	浅畑美香子	"（経理部主計課）	"（総務部研究協力課）
	"	川淵 智美	"（学生部入試課）	"（総務部総務課）
臨時的任用	13. 6. 13	竹苗吾希子		経理部主計課（～14. 2.28）
辞 職	13. 6. 8	倉田 実	工学部教務係主任	辞 職
退 職	13. 6. 13	時澤 貢	学 長	平成13年6月12日限り任期満了により退職
併 任	13. 6. 1	芳賀 健一	教 授 経済学部	評議員（～14. 3.31）
	13. 6. 13	鈴木 孝志	教 授 人文学部	副学長・評議員（～15. 6.12）
	"	佐々木和男	教 授 工学部	"
	"	山口 幸祐	教 授 人文学部	評議員（～14. 3.31）
	"	塩澤 和章	教 授 工学部	評議員（～14. 3.31）
併任解除	13. 6. 1	丹羽 昇	評議員	併任解除
	13. 6. 13	鈴木 孝志	評議員	併任解除
	"	佐々木和男	"	"
職務命令	13. 6. 1	酒井 富夫	教 授 極東地域研究センター	極東地域研究センター副センター長を命ずる（～15. 5.31）

学 内 諸 報

コクヨ株主催による植樹式を開催

コクヨ株式会社の黒田暉之助会長が10年前に健康のために始めた山歩きが、同社創業者黒田善太郎氏縁の富山の地で1,000万歩を達成したことを記念し、特に黒田家と縁が深い黒田講堂の前庭で6月9日（土）にイチイの木の植樹式が行われました。

式では黒田会長夫妻、黒田章裕社長ら黒田家関係者及び同社関係者並びに時澤前学長をはじめ本学関係者約100人が出席し、黒田会長の挨拶の後、時澤前学長に目録が贈呈されました。続いて、黒田会長らによるイチイの木の記念植樹が行われました。

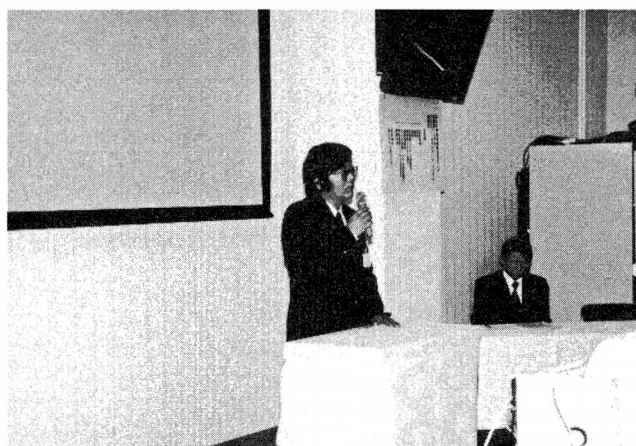


△挨拶する黒田会長

富山大学総合情報処理センター新情報システム及びギガビット・ネットワーク・システム披露式と公開デモンストレーションの実施

6月1日（金）、富山大学総合情報処理センターにおいて、4年に一度の定期更新による第7世代情報システムとしての新情報システムと平成12年度補正予算による「ギガビット・ネットワーク・システム」の一般公開が行われました。

式では、時澤前学長及び山西同センター長による挨拶の後、テレビ会議システム及びビデオ編集システム等が大勢のマスコミに披露されました。



△挨拶する山西総合情報処理センター長

副学長に鈴木孝志人文学部教授，佐々木和男工学部教授が就任

平成13年6月13日付けで，鈴木孝志人文学部教授及び佐々木和男工学部教授が副学長に就任されました。任期は同日より2年間。両氏の主な経歴は次のとおりです。

鈴木副学長は，昭和49年3月南山大学文学部を卒業，昭和53年3月大阪教育大学大学院教育学研究科修士課程を修了後，昭和55年4月富山大学教養部講師に採用され，同57年4月同助教授，平成5年4月富山大学人文学部助教授，同8年8月同教授に昇任され，現在に至っています。

この間，平成11年5月から同13年6月まで評議員を併任されています。専門は英文学。愛知県出身。



佐々木副学長は，昭和44年3月富山大学工学部電気工学科を卒業，同46年3月同大学大学院工学研究科修士課程を修了後，同年4月富山工業高等専門学校助手に採用され，同52年4月富山医科薬科大学医学部助手，同60年10月富山医科薬科大学実験実習機器センター助教授，平成2年12月富山大学工学部助教授，同6年4月同教授に昇任され，現在に至っています。

この間，平成12年4月から同13年6月まで評議員を併任されています。

専門は生体情報計測・制御工学。富山県出身。

**附属幼稚園保育フォーラムを開催**

教育学部附属幼稚園主催の平成13年度保育フォーラムが6月27日（水）に同園を会場として，開催されました。

同幼稚園は3年前から「環境とともに生きる子ども」をテーマに研究し，昨年度からは，子供がどのようにして新しい人間関係を築くかを探っているものですが，フォーラムは日頃の活動を披露し幅広い意見を集めて生かそうと年1回開催しています。

今年度は午前の部ではオープン保育及び年齢別フォーラムが，午後の部では全体フォーラムが開催されました。このうち，全体フォーラムで行われた講演会では，青柳宏 宇都宮大学教育学部助教授が，「幼稚園・保育所で育つもの」と題して講演され，富山県内外から大勢の幼稚園関係者が参加されました。



△講演する青柳助教授

附属学校（園）校内一斉清掃を実施

6月28日（木）に附属中学校美化委員会が中心となり、附属4校園合同で一斉清掃が行われました。

これは、校舎周辺の外掃除（ゴミ拾い、除草）を通して、学校園の教職員及び児童・生徒の清掃美化意識の向上を図ることを目的として行われたものであり、4校園の全教職員、小学校、中学校、養護学校の児童・生徒ら総勢約1,100名が参加しました。小学生、中学生を縦割りとし、40班を編制して各班に教官が付いて学園敷地内の外掃除を行いました。

午後の1時間足らずの清掃でしたが、ゴミ袋で10数袋分の雑草やゴミが集まり、また、この一斉清掃を通じて、学園全体で交流が深まり、先輩は後輩のお手本となり、後輩は先輩の素晴らしいところを見習うとともに、教職



員及び児童・生徒らが美化に対する意識を高める有意義な清掃となりました。

2001年日本留学フェアに参加

6月29日（金）・30日（土）の両日、マレーシアで開催された（財）日本国際教育協会主催の日本留学フェアに本学からも参加し、優秀な留学生の受入確保のためPR活動を行いました。

この留学フェアは、日本留学希望者が、自らの留学目的に合った教育機関を選択し、実りある留学を達成できるようにするため、世界各地で毎年開催されているもので、本学からの参加は、平成6年、同7年に中国でのフェアに参加して以来3回目となります。

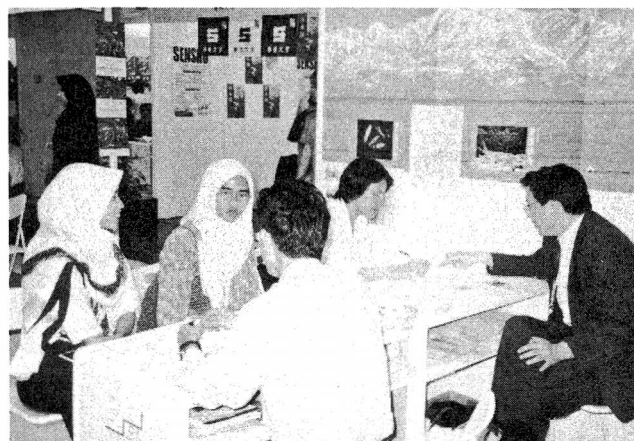
クアラルンプールにあるプトラ世界貿易センタービルの会場には、2日間で5,264人の高校生や大学生が訪れ、主催者が驚異的数字と表現するほどの来場者で賑わいました。（昨年同所参加者2,064人）

本学のブースには1,000人を超える人達が訪れ、富山大学の位置や学部・学科構成、富山の生活環境など生活情報に至るまで熱心な質問に、工学部 唐教授、留学生課 宮越専門職員及び現地通訳の本学経済学研究科修士のハリム・ハムダン氏らが、親切・丁寧に答えていま

した。

また、本学のマレーシア留学生OB10名が唐教授等を夕食会に招待し、留学時の思い出話や富山大学の現況などについて和やかに懇談しました。

さらに、留学フェア参加を機会に、本学との交流協定校であるマレーシア工科大学を表敬訪問し、研究者・学生の交流促進について意見交換を行いました。



(海) (外) (渡) (航) (者)

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	理学部	教授	東川和夫	ドイツ	複素解析研究集会に出席, 研究打合せ	13. 6. 6 }
	教育学部	教授	佐伯真人	アメリカ合衆国	通信教育受講生及び保護者に対する講演会・指導助言及び実態調査, 研究	13. 6. 14 }
	工学部	教授	上羽弘	フランス, ドイツ スイタ イリ	固体表面吸着子の電子・振動ダイナミクスに関する研究	13. 6. 14 }
	工学部	教授	塩澤和章	オーストリア	第5回表面処理国際会議に出席, 研究発表, 研究資料収集	13. 6. 16 }
	工学部	助手	三井隆志	フランス 連合王	国際会議 (Tenth International Conference on Vibrations at Surfaces) に出席, 研究発表	13. 6. 16 }
	経済学部	助教授	柳井雅也	中国	環日本海及び北陸地域の日中貿易における地位に関する調査, 研究	13. 6. 18 }
	理学部	助教授	大藤茂	韓国	2001年第8回韓中合同地質シンポジウムに参加・講演	13. 6. 19 }
	理学部	教授	小松美英子	モリシヤ レ・ユニオン	西インド洋海域におけるヒトデ類の生殖と発生に関する研究	13. 6. 21 }
	教育学部	助教授	黒田卓	デンマーク	ED-MEDIA学会に出席, 情報収集, 研究発表	13. 6. 23 }
	学生部	事務官	宮越謙三	マレーシア	2001日本留学フェアに出席のため	13. 6. 26 }
	工学部	講師	佐竹信一	スウェーデン	第2回乱流・せん断流現象国際会議に出席	13. 6. 26 }
	工学部	教授	唐政	マレーシア	2001日本留学フェアに出席のため	13. 6. 26 }
	海外研修	教育学部	講師	稲垣応顕	台湾	アジア障害理解学会第2回大会に出席, 研究発表
理学部		助教授	栗本猛	台湾	「B物理とCPの破れ」国際会議 (International workshop on B physics and CP violation) に出席, 研究発表	13. 6. 7 }
工学部		教授	坂井純一	アメリカ合衆国	International solar Cycle studies (ISCS) 2000 に出席, 研究発表	13. 6. 9 }
教育学部		教授	西川友之	ロシア	ロシアバレーボール協会の競技運営 (ワールドリーグ) に関する調査	13. 6. 12 }
教育学部		教授	長谷川総一郎	ドイツ	美術館教育の調査研究	13. 6. 15 }
経済学部		助教授	古川勝	ポーランド	インフォーミング・サイエンス学会の国際会議に出席, 発表	13. 6. 16 }
工学部		教授	升方勝己	アメリカ合衆国	第13回IEEEパルスパワー国際会議及び第28回プラズマ科学国際会議に出席	13. 5. 29 }
工学部		講師	石井雅博	カナダ	視覚に関する国際会議に出席, 討論	13. 6. 7 }
理学部		教授	清棲保弘	連合王国	GSA-GSL Earth System Processes Meeting に出席, 発表	13. 6. 19 }
教育学部		教授	西川友之	ポーランド	ポーランドバレーボール協会の競技運営 (ワールドリーグ決勝大会) に関する調査研究	13. 6. 21 }
工学部		助教授	小出眞路	韓国	第1回韓国天体物理ワークショップ「天体的物理的流れのための数値的手法」に出席, 招待講演	13. 7. 2 }

表

彰

竹内教授が地域環境保全功労者環境大臣表彰を受賞

6月4日（月）、竹内茂彌教育学部教授が環境保全及び地域環境美化に関し多年にわたり特に顕著な功績があったとして、環境大臣より地域環境保全功労者賞を受賞されました。竹内教授は教育学部理科教育所属。

**和田助教授が第1回 Ecological Research 論文賞を受賞**

3月29日（木）、和田直也理学部助教授が森林の更新に関して、動物と植物の相互作用系に着目して、親木の近くでは食葉性昆虫による影響で幼木（実生）が育ちにくいことを明らかにし、また、森林生態系における他種共存の維持機構の一部を解明して、植物の生存過程を動物の行動や空間分布を考慮して調査した功績に対し、日本生態学会より第1回 Ecological Research（日本生態学会英文誌）論文賞を受賞されました。和田助教授は理学部生物圏環境科学科所属。



主 要 行 事

本 部

- 6月4日 事務局連絡会
文部科学省共済組合主管課長会議（於：東京医科歯科大学）
- 5日 運営会議
国立大学学生関係部長（相当職）協議会（於：電気通信大学）
行政財産等の実地監査（ヒアリング）（於：富山財務事務所）
- 6日 国立大学等研究協力部課長会議（於：学術総合センター）
富山大学の在り方に関する検討特別委員会

- 国立学校学生関係部長・次長・課長会議（於：東京医科歯科大学）
- 7～8日 国立学校及び施設等機関等総務部課長会議（於：学術総合センター）
- 8日 国際企画担当部課長会議（於：学術総合センター）
自己点検評価委員会
- 9日 コクヨ記念植樹
- 11日 事務局連絡会
学長及び副学長の退任式
- 12～13日 国立大学協会総会（於：学士会館）
- 13日 セクシュアル・ハラスメント等対応委員会
- 14日 平成13年度北陸地区国立学校事務情報化推進協議会（於：金沢大学）
国立大学長会議（於：学士会館）
富山地区人事担当課長会議（於：富山工業高等専門学校）
教養教育検討特別委員会
- 14～15日 東海北陸地区学生関係副学長・部課長会議（於：ホテルアソシア静岡ターミナル）
- 15日 国立大学協会事務連絡会（於：学士会館）
評議会（臨時）
全国国立大学留学生センター長及び留学生課長合同会議（於：名古屋大学）
- 20日 国立大学大学入学者選抜・教務関係事項連絡協議会（於：京都会館）
- 21～22日 留学生交流研究協議会（於：豊中市）
- 22日 日本教育大学協会評議員会（於：KKRホテル東京）
評議会
運営会議
- 26日 事務局連絡会
- 29日 中部地区安全対策会議（於：名古屋市）
北陸3県大学学生交歓芸術祭運営委員会（於：福井大学）
- 29～30日 2001年日本留学フェア（於：マレイシア・プトラワールドトレードセンター）

人 文 学 部

- 6月6日 学部情報処理委員会
学部教務委員会
学部国際交流委員会
- 13日 人文科学研究科委員会
教授会（人事）
教授会
- 14日 学部自己点検評価委員会
- 15日 教授会（臨時）
- 18日 教授会（臨時）
- 20日 教授会（臨時）
- 22日 学部予算委員会（持ち回り）
学部教務委員会
教授会（臨時）
- 25日 人文科学研究科委員会小委員会
学部教務委員会

人文科学研究科委員会
教授会

教 育 学 部

- 6月2日 日本教育大学協会附属学校連絡協議会・分科会並びに附属学校連盟校園長・副校園長総会・校種別部会・連盟代議員会（於：お茶の水女子大学）
附属小学校運動会
- 5日 学部入学試験委員会
- 6日 学部防火対策委員会
学部安全管理委員会
研究科小委員会
「総合的な学習の時間」に関する教育運営協議会
- 7日 学部給与及び在外研究員等検討委員会
日本教育大学協会第一常置委員会（於：東京学芸大学）
- 12日 附属中学校教育研究協議会
- 13日 学部予算委員会
研究科委員会
教授会
人事教授会
- 14日 附属小学校避難訓練
水泳指導に際しての救急法講習会
- 20日 教授会（臨時）
学部予算委員会
- 21日 全国国立大学教員養成学部事務長協議会（於：埼玉大学）
日本教育大学協会北陸地区家庭科部門研究協議会（於：富山大学）
- 22日 学部教務委員会
日本教育大学協会評議員会（於：KKRホテル東京）
特殊教育関係補助金等事務担当者会議（於：東京医科歯科大学）
- 25日 附属中学校・事務室避難訓練
プール開き
- 27日 学部予算委員会
「総合的な学習の時間」に関する教育運営協議会
附属幼稚園保育フォーラム
- 28日 学部紀要編集委員会

経 済 学 部

- 6月4日 学部入学試験委員会
情報処理委員会
学部教務委員会
- 5日 研究科委員会小委員会
- 6日 学部総務委員会
- 7日 図書等委員会

- 学部国際交流委員会（持回り）
- 7～8日 春季国立12大学経済学部・経営学部学部長及び事務長会議（於：滋賀大学）
- 11日 学部入学試験委員会
図書等委員会（持回り）
- 12日 学部教務委員会（持回り）
- 13日 将来構想等検討委員会
人事基本問題検討委員会
人事教授会
研究科委員会
教授会
- 14日 生涯学習・広報委員会
- 20日 経済学部外国人留学生とチューター及び指導教官等との懇談会
就職指導委員会
学部教務委員会
- 27日 学部入学試験委員会
- 29日 財務委員会

理 学 部

- 6月5日 出前講義（富山県立富山南高等学校）
- 8日 学部教務委員会
学部施設委員会ガラス工作室運営専門委員会
- 13日 大学院理工学研究科博士前期課程理学部会
教授会
人事教授会
- 19日 理学部将来計画策定ワーキンググループ会議
- 20日 学科長会議
大学院理工学研究科博士後期課程部会
- 21日 学部入試委員会
- 26日 理学部将来計画策定ワーキンググループ会議
- 27日 学科長会議
- 28日 学部広報委員会
- 29日 学部教務委員会

工 学 部

- 6月6日 学部教務委員会
- 12日 S V B L 設置検討会議
- 13日 工学部編入学試験（推薦による選抜）
- 19日 学部運営委員会
学部教務委員会
学部就職指導委員会
- 20日 教授会
専任教授会

理工学研究科博士前期課程工学部会
理工学研究科博士後期課程部会
工学部編入学試験（推薦による選抜）合格発表

附属図書館

6月6日 富山大学年史編纂委員会
27～28日 第48回国立大学図書館協議会総会（於：北海道大学）

地域共同研究センター

6月6日 講演会
演題；特許の取得と権利について（第1回目）
講師；扇谷 高男（特許庁審判部主席審査官）
7日 運営委員会（持ち回り）
19日 大学院生教育講座「電気事業における技術開発」
25日 運営委員会（持ち回り）
28日 運営委員会（持ち回り）
29日 大学院生教育講座「アイシン軽金属の全社的品質管理活動」

水素同位体科学研究センター

6月29日 運営委員会



△ 黒田コクヨ(株)会長から時澤前学長へ目録の贈呈

編集 富山大学総務部企画室 〒930-8555富山市五福3190 TEL. (076) 445-6029 FAX. (076) 445-6033
印刷所 あげぼの企画(株) 〒930-0031富山市住吉町1-5-8 TEL. (076) 424-1755 FAX. (076) 423-8899